

広報|京丹波

NO.123
2016年1月19日発行
1月号

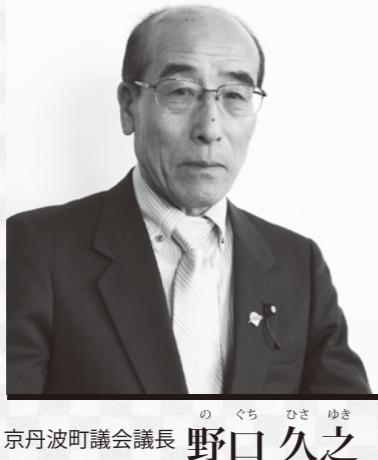
手づくりしめ縄で
新年を祝う





新春ごあいさつ

輝かしい次の10年への第一歩を



京丹波町議会議長の野口久之

新 年明けましておめでとうございます。
今年にあたり、京丹波町議会を代表いたしまして、年頭のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年は、戦後七十年、いわば戦後日本二十八年の輝かしい新春を迎えるました。

また、昨年は、戦後七十年、いわば戦後日本二十八年の輝かしい新春を迎えるました。

の古希ともいいくべき、大切な節目の年でありました。戦前戦後幾多の困難を乗り越え、平和な日本の礎を築いてこられた先人の方々のご労苦に対し、深く感謝の意を表すると共に、この自由で平和な社会を、私たちの子や孫たちの世代に確実なものとして引き継いでいくことが、今を生きる者としての使命であり、その誓いを新たにしたところです。本町にとりましては、合併十周年の記念すべき年であります。七月には、待望の京都縦貫自動車道が全線開通し、時を合わせ、オープンした地域振興拠点施設、道の駅「京丹波 味夢の里」は、まさに想定を超える大変なにぎわいを見せていました。

さらに、「味夢の里」に隣接する丹波自然運動公園は、「(仮称)京都トレイニングセンター」や本町の木材を使用した宿泊施設など、京都府の重点施策として、着実に再

要な施設となっています。今後は、さらにこの施設から町内各地へ訪れていただけるよう事業者とも連携して取り組んでいきたいと考えています。

一方、全国的に進む少子化・高齢化は、本町においても例外ではなく、まちづくりに少なからず影響を及ぼしています。

このような状況の中で、今後の京丹波町のまちづくりを進めるため、「まち・ひと・しご

明けましておめでとうございます。平成二十八年の輝かしい新春をお迎えになりましたこと、心からお喜び申し上げます。

町民の皆さまから町政のかじ取りをお任せいただき、七度目の初春を迎えることとな



京丹波町長 寺尾 豊爾

りました。この間、京丹波町のまちづくりは、皆さまからの温かいご支援に支えられ、私が目指します「安心」「活力」「愛」のある京丹波町に向け、一歩ずつ着実に進んでまいりました。本年におきましても、皆さまに愛されるまち「京丹波町」を目指し、町政を進めていく決意を新たにしているところです。

さて、昨年を振り返りますと、本町は、平成十七年十月十一日に丹波町・瑞穂町・和知町が合併してから十周年という節目の年を迎えるました。

合併の日と同じ十月十一日に開催した合併記念式典には、約四百人の皆さまに参加いたしました。町政発展に功績のあった方々などを表彰させていただきました。さらに、式典では、竹野小学校の児童と、本町と同じ年に生

と創生法に基づき、昨年十一月二十日に「京丹波町創生戦略」を策定しました。戦略では、基本理念を「日本のふるさと。自給自足的循環社会・京丹波」とし、「森林」「食」「子育て力」「地元力」というまちの強みを生かし、まちの活性化に向けてさまざまな事業に取り組んでいくこととしています。

平成二十八年は、合併十周年を迎えた本町にとりまして、次の十年に向けた第一歩を踏み出しますが、今年一年が町民の皆さんにとって、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつを申し上げます。



今月の表紙

正月に自宅玄関などに飾りつけるしめ縄を作る体験会を山村開発センターみずほで開催。80人の参加者が、新春に向けしめ飾りを作りました。

NO.123 CONTENTS

2 新春ごあいさつ

4 2015年を振り返る 京丹波のおもなできごと

5 Dr's Message いきいき健康術 6 本庄馬森・花ノ木宅地分譲地 申込みを随時受け付けます

8 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2016

- 住みやすい社会の実現へ
—身体障害者福祉大会
- 発電所について説明
—高浜発電所に係る町民説明会
- 木に親しむ
—木育事業
- 地域福祉向上へ
—赤い羽根自動販売機設置
- 誰も傷つかない社会へ
—いじめ防止のための子ども意見発表会
- 新春に向け作り上げる
—しめ縄作り体験会
- 人権を考える
—人権講演会
- おめでとうございます
—選挙関係功労者表彰・明るい選挙啓発ポスター表彰
- 新たな競技の普及へ
—町民パークゴルフ交流大会
- 最後の輝きに見入る
—冬ほたる
- 楽しみながら健康増進
—ノルディックウォーキング・ジョギング教室
- 新春に向け設置
—須知高校生が門松と冬のセットを届ける

いきいき健康術 第101回

『風邪に 抗生物質はいりません』

新年を迎え、一年の中でも冷え込みがピークを迎える季節です。寒さとともに風邪の原因となるウイルスも活発となっています。ウイルスといえばインフルエンザが有名ですが、風邪症状を引き起こすウイルスは他にもたくさんあります（ライノウイルス、コロナウイルスRS、ウイルスなど）。ウイルスを体内に入れないように、しっかりと手洗いをするように。ウイルスをまかないように咳が出る人はマスクをしましょう。

さて、風邪の予防にいそしんでいても、やはり風邪にかかることがあります。成人では平均年三回程度風邪にかかるといわれています。

風邪をひいて受診される人の中に「抗生物質を出してください」といわれる人がいます。ここで大切なのは「風邪の原因はウイルスであり、抗生物質は細菌をやつける薬である」ということです。抗生物質はウイルスには効かないのです。風邪には効かないのです。

風邪の後に肺炎になるかもしれないから抗生物質を使用するという人もいますが、それで実際に肺炎を防げるのは四千人から一万二千人に一人くらいというデータがあります。これではあまりにお金がかかりますし、抗生物質は副作用（発疹、下痢）があります。

お知らせ
京丹波町病院では、毎週水・木曜日の午後一時から三時まで小児科の予防接種を行っています。
☎ 86-0220



内科医師
横井 大祐 先生(京丹波町病院)

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波町病院の内科医師横井大祐先生。冬場に増え、油断するとかかってしまう風邪と抗生物質に関するお話を。

有名。重い全身型アレルギーもあります)が多く、二十人に一人くらい副作用が出るといわれているので、必要なトラブルを抱えることになります。また、世界中では抗生物質の効かない病原菌が増えており、医療者を悩ませています。抗生剤をたくさん使うことで、それらが発生しやすくなるのです。

風邪の治療の基本は、しっかりと栄養と水分をとつて自分の免疫力を高めることです。薬はしない症状を抑える補助的な役割です。もちろん、肺炎などの抗生物質がなくてはならない病態もあります。そのため私たちも正確な診断に努めます。この冬も元気に乗り切りましょう。

2015年を振り返る

京丹波の主なできごと



- 1月**
 - 町消防出初式開催(11日)
 - 町内で208人が新成人を迎え、成人式開催(11日)
- 3月**
 - 町内で誕生した赤ちゃんに対し「ぬく森のイス」の贈呈を始める(24日)
 - 町瑞穂支所周辺をゾーン30に設定(27日)
 - 京都縦貫自動車道瑞穂トンネルの貫通により同自動車道全線が貫通。記念式典が開催される(29日)
 - 京丹波町子ども・子育て支援事業計画を策定(31日)
- 4月**
 - 町で初の地域おこし協力隊2人を任命(1日)
- 6月**
 - 町長と語るつどいを町内22会場で開催(6月18日～8月11日)
 - 旧和知第二小グラウンド芝生化を目指して、住民らが14,000株の苗を植え付ける(20日)
- 7月**
 - 道の駅「京丹波 味夢の里」が完成。記念式典を開催(12日)
 - 京都縦貫自動車道が全線開通(18日)
 - 消防防災にかかる機関が集い消防防災フェスティバルを開催(26日)
- 8月**
 - グリーンランドみずほホッケー場をメイン会場として全国高等学校総合体育大会ホッケー競技が開催され、地元須知高校女子ホッケー部が、ベスト8の成績を残す。(3日)
 - 京たんば花火大会(5日)、みずほ夕涼み大会(16日)、わちふるさとまつり(22日)が開催される。
- 9月**
 - 京丹波町総合教育会議を設置。第1回会議を開催(24日)
- 10月**
 - 京丹波町合併10周年記念式典を開催(11日)
 - 丹波自然運動公園などを会場に「京丹波 食の祭典2015」開催(25日)
- 11月**
 - 2015京都丹波ロードレース大会を開催(3日)
 - 京丹波町創生戦略を策定(20日)
- 12月**
 - 10回目となる冬ほたるが開催される。(11日～24日)

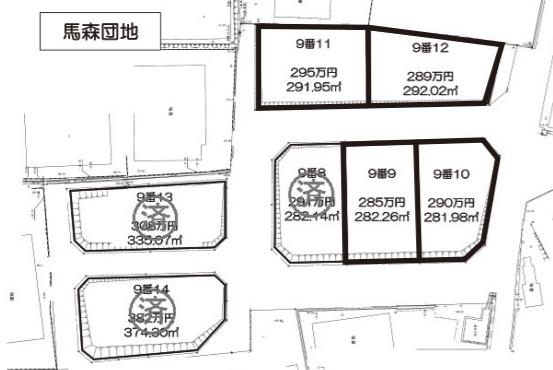
本庄馬森・花ノ木宅地分譲地 申込みを隨時受け付けます

京丹波町では、定住促進を目的とした本庄馬森と花ノ木に造成した宅地の分譲を再開します。

■分譲を行う宅地

馬森団地

本庄地区を見下ろせる高台にある馬森団地は、日当たり良好、JR和知駅まで徒歩約2分という立地。この団地では、**残り4区画**を分譲します。



住所	面積(m ²)	予定分譲価格
本庄馬森9番 9	282.26	285万円
本庄馬森9番10	281.98	290万円
本庄馬森9番11	291.95	295万円
本庄馬森9番12	292.02	289万円

■応募資格

今回の分譲地購入については、以下の全ての条件を満たす人が対象となります。

(1)自ら居住する住宅を建築するための宅地を必要としている人で、現在親族と同居しているか、または同居しようとする親族があること。

※婚姻の届出をしていない場合でも事実上婚姻関係と同様の状況にある方、また、婚姻予定者を含みます。

(2)応募者とその同居しようとする人(中学生・高校生を除く満15歳以上の人)が、本町と住所地の市町村税を滞納していないこと。

(3)町が指定する日に分譲代金の支払いが確実にできること。



花ノ木団地

府道和知停車場線に面し、JR和知駅まで徒歩約2分。近くには、金融機関や商店などもあります。

この団地では、**残り1区画**を分譲します。



住所	面積(m ²)	予定分譲価格
本庄花ノ木11番7	165.75	176万円

(4)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団と反社会的行動を行う団体の構成員、暴力的不法行為を行う者、公序良俗に反する行為を行う者でないこと。

(5)現在同居している人、または同居しようとする人が上記に該当しないこと。

■分譲の条件

分譲にあたり、次のとおり条件がありますのでご注意ください。

(1)分譲する宅地は、住宅の建築用地として使用しなければならず、それ以外の用途には使用できません。

- (2)宅地の引渡しを受けた日から2年以内に住宅建設に着手し、かつ、3年以内に完成させなければなりません。
- (3)宅地の売買契約上の地位を第三者に譲渡することはできません。
- (4)住宅完成後、速やかに自ら居住しなければなりません。
- (5)宅地の引渡しを受けた日から10年間は、宅地を第三者に貸したり譲渡したりすることはできません。
- (6)宅地を譲り受けた人は、自治会に加入し、その活動に積極的に参加しなければなりません。

■申込方法

宅地分譲申込書に必要事項を記入し、次の書類とともに提出してください。

- (1)住宅に居住しようとする全ての方の住民票の写し
- (2)代理人が申請する場合は、委任状
- (3)応募資格者にある婚姻予定者に該当する場合は、婚約証明書
- (4)申請者と同居しようとする方(中学生・高校生を除く満15歳以上の方)の直近2年間の本町と住所地の市町村税にかかる納税証明書または非課税証明書
- (5)確約書

■申請受付開始日

平成28年2月10日(水)から随时受付

*土曜日、日曜日、祝日を除く

午前8時30分から午後5時15分まで

■申請受付場所

京丹波町和知支所

(郵送・電話・メールなどによる申込はできません)

■選定方法

必要書類をそろえて提出された日時の順番(先着順)で受付します。

申込書および添付書類により資格審査を行い、分譲を決定します。

【問い合わせ先】
和知支所 ☎84-0200

若者定住を目的に分譲地購入者に100万円の補助金を交付します

町から宅地の引渡しを受けられた人で、下記に該当する人に補助金を交付します。

対象者

宅地購入申し込み時点の年齢が40歳未満の人で、次のいずれかに該当する人

- ①戸籍法により婚姻の届出をしている婚姻中の人が(婚姻の届出をしていないが事実上婚姻關係と同様の事情にある人や婚姻予定の人を含む)。
- ②同居予定者に義務教育終了前の子がいること。

※平成27年度中に申請される場合に限り、平成27年4月1日現在で40歳未満の人も対象となります。

交付額

100万円

申請方法など、詳しくは下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】
和知支所 ☎84-0200

住みやすい社会の実現へ

■身体障害者福祉大会

町身体障害者福祉会（一谷静夫会長）主催の第十回京丹波町身体障害者福祉大会が十二月一日、和知ふれあいセンターで開催されました。

この大会は、障害者の社会参加の推進と自立意欲を高めることを目的に同会が毎年開催しているものです。

大会では、町身体障害者福祉社会

に対し表彰状が授与されたあと、六項目の大会決議案の承認、大崎薰さん（水戸）による体験発表などが行われました。

受賞者は次のとおり。（敬称略）

■第十回京丹波町身体障害者大会

自立更生者の部／

村山敏男（安井）

▼澤井 満（質美）

▼谷 忠志（坂原）

発電所について説明

■高浜発電所に係る町民説明会

高浜発電所に係る町民説明会を十一月二十六日、和知ふれあいセンターで開催しました。この説明会は、同発電所で万が一原子力災害が発生した際、重点的に対策を行う区域とされるおむね半径三十キロの範囲（UPZ）に本町の一部が含まれることから、同発電所の現状説明を受けるために開催したもの。UPZとされる和知地域の住民と、丹波地域、瑞穂地域の自治会役員など百

人が参加しました。
説明会では、原子力規制庁、資源エネルギー庁、関西電力株式会社、内閣府の担当者が高浜発電所三、四号機にかかる新規制基準に基づく適合性結果の報告や安全性向上に向けた取り組み、原子力防災、国のエネルギー政策の中での原子力発電所について説明した後、質疑応答が行われました。

町では、この説明会の内容を二月一日から七日まで町ケーブルテレビで放送。十二月七日までの間、質問を受け付けました。質問

地域福祉向上へ

■赤い羽根自動販売機設置

町内で三台目となる赤い羽根自動販売機がこのほど、道の駅「和」に設置され、十二月一日、除幕式が行われました。

この自動販売機は、町共同募金会（寺尾豊爾会長）が設置したもので、購入額の一部が、同会を通じて、町内の高齢者や障害者などの福祉向上に活用されます。

除幕式では、同会の波瀬孝澄副

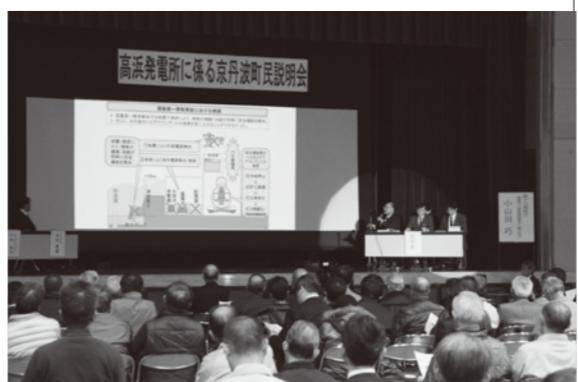
新春に向け作り上げる しめ縄作り体験会

町教育委員会と町ふるさと体験資料館運営委員会（北村始子委員長）が主催し、十二月二十日に山村開発センターみずほでしめ縄作り体験会を開催しました。参加者は、運営委員会の委員や講師として参加した町民などから縄をなす方法などを教えてもらいながら、自宅玄関などに飾るしめ縄を作っていました。

近所の人と参加したという清水孝子さん（実勢）は「初めてのしめ縄作りでしたが、わかりやすく教えてもらいました。はじめは難しかったけど、楽しく作ることができました」と、自宅に飾るしめ縄を作り上げていました。



設置された自動販売機（右から）波瀬副会長、藤田駅長、和田事務局長（道の駅「和」・坂原）



町民を対象に行われた説明会（和知ふれあいセンター・本庄）
に対する回答は、町ホームページで公開を予定しています。



表彰状を授与される受賞者（和知ふれあいセンター・本庄）

木に親しむ

■木育事業

本年度三回目の木育事業を十二月十二日、わち山野草の森で開催しました。

この事業は、森林にちなんだ体験活動などを通して森を理解する取り組みとして行っているものであります。今回、クリスマスアート教室として開催した事業では、友好町下川町産のトドマツに松ぼっくりなどを飾りつけてクリスマスツリーを作りました。

また、教室に参加した子どもたちは、身近な材料を使ったクリスマスリースや小物作りに挑戦しました。今回、子どもたちが飾り付けをしたクリスマスツリーは、町内の小・中学校に届けられました。

ちは、身近な材料を使ったクリスマスリースや小物作りに挑戦しました。今回、子どもたちが飾り付けをしたクリスマスツリーは、町内の小・中学校に届けられました。



ツリーに飾り付けをする参加者（わち山野草の森・坂原）

誰も傷つかない社会へ

■いじめ防止のための子ども意見発表会

児童会本部でいじめ防止について心をつなぐ活動に取り組んだ結果、瑞穂小学校の児童たちは「自分たちが一年生のときに六年生に声をかけてもらったのがうれしかったので、今は自分たちが一年生に声かけをしている」と発表し、「当たり前の『ありがとうございます』が、自分にとっても、相手にとってもうれしいこと。（あいさつや声かけで）社会が明るくなると思う」と発表しました。

町教育委員会と町内幼稚園・小学校中学校長会は、十二月六日に京丹波町いじめ防止のための子ども意見発表会を開催しました。

この発表会は、町内小・中学校でのいじめ防止の取り組みを発表することで、いじめ防止に対する意識を高め、地域全体でいじめゼロを目指す初の取り組みとし開催。各校の児童・生徒らは、スライドや自作のブレートを使って

発表しました。

児童会本部でいじめ防止について心をつなぐ活動に取り組んだ結果、瑞穂小学校の児童たちは「自分たちが一年生のときに六年生に声をかけてもらったのがうれしかったので、今は自分たちが一年生に声かけをしている」と発表し、「当たり前の『ありがとうございます』が、自分にとっても、相手にとってもうれしいこと。（あいさつや声かけで）社会が明るくなると思う」と発表しました。



取り組みを発表する児童たち（町中央公民館・蒲生）



作り方を教わりながら縄をなう参加者（山村開発センターみずほ・大朴）

楽しみながら健康増進

■ノルディックウォーキング・ジヨギング教室

町教育委員会と町スポーツ推進委員会では、健康増進などを目的として十一月二十八日に丹波自然運動公園でノルディックウォーキング・ジヨギング教室を開催しました。ノルディックウォーキング教室には、高齢者を中心に三十二人が参加。日本ノルディックウォーキング協会公認インストラクターの長元太さん（スプリングスひよし）の指導を受け、公園内を歩き

ました。
公園内を歩きながら長さんは「下り坂はブレーキをかけようとひざに負担をかけてしまいます。足をつく前にボールをつことで負担が少なく歩けます」と、参加者にボールの使い方を指導していました。

同時開催されたジヨギング教室では、全国都道府県対抗女子駅伝京都府チームのコーチを務める久保孝子さん（園部高教員）が、小学生二十三人に対してジヨギングに向けた上半身を使うトレーニング法などを指導。腕の振り方な



長さん(写真右)とともにノルディックウォーキングを楽しむ参加者(丹波自然運動公園・曾根)

十二月二十一日、須知高校生が京丹波町役場を訪れ、門松と加工品の詰め合わせ「冬のセット」を届けました。

門松は、食品科学科公園管理コースの生徒が、校内で取れた竹や松、栽培したハボタンなどを使つて制作。同コースの三年生山内喬介君と二年生東優衣さ

新春に向け設置

■須知高校生が門松と冬のセットを届ける

んらにより役場玄関に設置されました。

また、府立海洋高校(宮津市)と共同で制作した「冬のセット」は、同科食品加工コースの二年生井上太賀君から島中源一副町長へ手渡されました。

生徒らは、それぞれの作品について「(門松)の左右が対になるようになるのが難しかった」「一年生で食品加工コースになつてから一番の出来」と、それぞれの作品制作の感想などを話していました。



門松を設置する須知高校生(京丹波町役場・蒲生)

明けましておめでとうございます。皆さまは、平成28年の輝かしい新春をどのように過ごされたでしょうか。

昨年は、京丹波町合併10周年、京都縦貫自動車道全線開通、道の駅「京丹波 味夢(あじむ)の里」オープンなど、本町にとってさまざまな面で節目の年となりました。

本年は、次の10年に向けた新たな一步を踏み出す年となります。今まで以上に精力的に取材し、皆さんにまちの歩みを伝えていきたいと思いますのでよろしくお願いします。(T)

編集後記

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチョウ



【町の花】
つつじ

